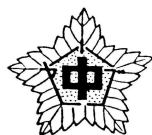


令和2年度学校便り



# 日に新しき眼もて

小布施町立小布施中学校  
NO.1  
令和2年4月21日 発行

「日に新しき眼もて」これは本校校歌の歌詞にある言葉です。“現状に満足することなく自分の可能性がある限りチャレンジし続けて欲しい”そして、“今日うまくいかななくても明日はきっとうまくいく！”という願いを込めて、学校便りの題名としています。

令和2年度は、310名の生徒、35名の職員で、小布施中学校が始まりました。子どもたちの確かな成長のために、力を合わせて、精一杯指導・支援をまいります。よりよい学校づくりに向けて、皆様方のご支援・ご協力をお願い致します。

## 令和2年度 小布施中学校入学式

4月6日（月）に、在校生206名が、104名の新入生を迎えて、令和2年度の入学式が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、入学式の内容を変更・割愛させて頂き、マスクの着用などをお願いしての挙行でしたが、新たな学校やクラスの中で頑張っていこうとする希望に満ちた顔つきで式に臨んでいる1年生、後輩をしっかり迎えようとする2・3年生の凜とした雰囲気の中で、新年度のスタートをきることができました。



### 学校目標 「夢」「忍耐」「思いやり」

校長先生より、

- ・夢の実現に向けて様々なことに目標を持って取り組むことで、自分も伸びて人の役にも立てる力を高める。
- ・忍耐し、生活習慣を確立し、規律を守るなど、自分に厳しく、周りに優しい人になろう。
- ・思いやりや、人との積極的に関わりから、感謝の気持ちを伝えることで、自分も周りも明るく元気で爽やかにできる人になろう。

中学3年間は、心身共に大きく変化する時です。勉強や仲間・先生・親との関係で悩むこともありますが、それは全てみなさんの成長に必要なことです。目標をたてて、自分の出来ることをこつこつと続け、自分たちの夢の実現に向け挑戦していきましょう。

## 1学期始業式

入学式後に行われた始業式では、学校長からあいだみつおさんの詩を紹介しての話がありました。

なんでもいいからさ 本気でやっごらん  
本気でやれば たのしいから  
本気でやれば つかれないから  
つかれても つかれが さわやかだから

勉強、部活、生徒会、友達関係など目標を持って取り組もう。本気になって取り組もう。

